※令和４年度以降入学生用

学校番号	402

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高等学校　現代の国語」　（第一学習社）						
副教材等	重要頻出漢字リアルマスター3300（尚文出版） 論読　現代文２（浜島書店） ビジュアルカラー　国語便覧（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生では学習の基礎となる基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・漢字は書き取りだけでなく、意味を押さえる。様々な文章に触れ、わからない語句があれば調べるなど語彙力向上のための地道な努力をしましょう。
・作品を通して豊かな感性と読解力を身につけること、でも読むだけでは読解力は身につきません。どう考えれば自分は納得できるか、自分が納得できる読みを創造することが読解力の源泉です。頭を使い、心を動かして、読む力と読む面白さを身に付け経験していきましょう。
・国語力は日々の継続と積み重ねが大事です。小テストの勉強や宿題も日々こなしていきましょう。

２　学習の到達目標

a　知識及び技能
・補助的に新たな文章や副教材を活用し、読解技術や漢字の習得、語彙数の増加に努める。
b　思考力、判断力、表現力等
・読解力を養い、作品を通してものの見方、考え方を深め、人間性の形成に役立てる。
・物事の本質を理解する能力を養成すると共に、その表現能力も育成する。
c　学びに向かう力、人間性等
・言語・文化に対する関心を深め、言葉を尊重して、自己に向き合う態度を養成する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	漢字の読み書きや慣用句、読解に必要な専門用語等、言葉に対する関心を持ち、語彙力の向上と言葉を使いこなす力を身に付けている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめることができる。	多くの作品に触れることを通して、さまざまな文化や時代、人間の生き方に対する関心を養い、自己の人生を豊かに創造する態度と意欲を所有している。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 ［教材］ 「『生きもの』として生きる」	a：正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。 b[書]：本文の展開をそれぞれの構成要素で捉え、要旨をまとめることができる。 c：時代や文化、人間の在り方に関心を持ち、作品を現代社会や自己の問題として理解し考えようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ノート
	東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ［教材］ 「水の東西」	a：正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。 b[話／聞]：筆者の考えを正確に読み取り自分の考えをまとめ人に伝えると同時に、人の意見を理解し学ぶことができる。 c：積極的に他者の意見を理解しようとするとともに、筆者の意図を汲み取った上で自分の考えにいかそうとしている。	ノート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	具体と抽象の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。 ［教材］ 「ものとことば」	a：正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。 b[読]：論理の道筋を的確に押さえ、現代社会や人間、文化の問題を、現代人の問題として正確に捉えている。 c：時代や文化、人間の在り方に関心を持ち、作品を現代社会や自己の問題として理解し考えようとしている。	小テスト 定期考査	ノート 定期考査	ワークシート ノート
	現状における科学と技術の関係を理解し、自分の考えや意見を論述する。 ［教材］ 「『文化』としての科学」	a：正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。 b[書]：自分の考えや事柄が正確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する方法を学んでいる。 c：筆者の意図を汲み取り、文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート
後期	説得力を意識した表現仕方について理解する。 ［教材］ 論理的な表現	a：書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。 b[書]：論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解し学ぶことができる。 c：論理的に、文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。	ワークシート	ワークシート	振り返りシート
	筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。	a：正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	［教材］ 「現代の『世論操作』」	b[話／聞]：筆者の考えを正確に読み取り自分の考えをまとめ人に伝えると同時に、人の意見を理解し評価する方法を学ぶ。 c：積極的に他者の意見を理解しようとするとともに、筆者の意図を汲み取った上で自分の考えにいかそうとしている。			
	具体的事例から一般論への展開と、対比の構造を手がガリとして、筆者の主張を理解する。 ［教材］ 「不均等な時間」	a：正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。 b[読]：論理の道筋を的確に押さえ、現代社会や人間、文化の問題を、現代人の問題として正確に捉えている。 c：時代や文化、人間の在り方に関心を持ち、作品を現代社会や自己の問題として理解し考えようとしている。	小テスト 定期考査	ノート 定期考査	ノート
	複数の文章を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連付けながら理解したことをまとめる。 ［教材］ 法律の改正にかかわる文章を読み比べる	a：正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。 b[書]：異なる形式で書かれた複数の文章や、図表等を読み、理解したことをまとめることができる。 c：読み取った情報を正確に用い、文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間